

春の闘いを職場から構築しよう！ 2013春闘セミナー開催

3月3日、JR東海労は東京浜町で2013春闘セミナーを開催しました。セミナーには組合員100名が参加しました。

主催者を代表して淵上委員長は「東日本大震災から丸2年、マスコミは福島第一原発事故の現状を報道しない中で、金儲けのために原発再稼働を進める政府自民党の犯罪性を、私たちが広めていかなければならない」と訴えました。

講演として、原発労働者より、3・11当日の福島第一原発内の様子、その後の補償などの動きなど、リアルに報告されました。

本部の問題提起として、加藤調査・研修サークル部長が「報復処分撤回裁判の意義と教訓について」、木下副委員長が「当面する春の闘いについて」それぞれ行いました。

質疑の後、各地本の決意表明を行い、春の闘いの意思統一ができました。

